



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

文京学院大学生涯学習センター主催講座

カウンセリングワークショップ
「傾聴力」

日時：10月2, 16日, 11月6, 20日(水)19:00~20:30

生涯独身・働けない子の気持ち
—親のできる事, 他人に頼むこと

日時：10月7, 21日, 11月11, 18日(月)10:30~12:00

【以下共通】

会場：文京学院大学生涯学習センター(東京都文京区, 地下鉄東大前駅徒歩1分)

講師：富田富士也(子ども家庭教育フォーラム, 日本外来精神医療学会), 荻野ゆう子(教育・心理カウンセラー, 日本精神衛生学会)

受講料：各講座1万2000円(入会金別途)

申し込み・問い合わせ先：子ども家庭教育フォーラム

〒270-2253 千葉県松戸市日暮2-6-7 ペルテ松戸101

☎ 047-394-6000

FAX 047-394-6010

URL <http://www.kodomoforum.com/>

日本世代間交流学会 第4回全国大会

日時：10月5日(土)10:00~17:15
テーマ：超高齢社会における世代間交流

会場：東京都健康長寿医療センター研究所(東京都板橋区)

プログラム：基調講演 Matthew Kaplan(ペンシルベニア州立大学)/シンポジウム/総会/発表セッション

参加費：学生会員4000円, 一般会

員4500円, 非会員5000円

問い合わせ先：事務局 倉岡

☎ 03-3964-3241

✉ mkuraoka@tmig.or.jp

URL <http://www.jsis.jp/>

転倒予防医学研究会 第10回研究集会

日時：10月6日(日)9:00~17:00

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター赤門総合研究棟(東京都文京区)

プログラム：特別講演「光の力」石井幹子(照明デザイナー)/ランチョンセミナーⅠ 小川純人(東京大学医学部附属病院老年病科)/ランチョンセミナーⅡ 原田敦(国立長寿医療研究センター先端診療部), 野村一俊(朝日野総合病院)/パネルディスカッション「現在そして将来, 転倒予防はどこまでできるか」山本智章(愛広会新潟リハビリテーション病院), 金恵経(東京都健康長寿医療センター東京都老人総合研究所), 泉キヨ子(帝京科学大学医療科学部看護学科), 森田光生(慶友整形外科病院転倒骨折予防医学センター), 島田裕之(国立長寿医療研究センター老年学, 社会科学研究センター自立支援システム開発室)/ワークショップ「転倒予防対策グッズの新たな展開」/シンポジウム 鳥羽研二(国立長寿医療研究センター病院), 杉山良子(前武蔵野赤十字病院医療安全推進室), 川村治子(杏林大学保健学部), 小島剛(東京海上日動火災保険), 望月浩一郎(虎ノ門協同法律事務所), 田辺功(ココノッツ)/ラウンドテーブルディスカッション 高原昭(三木市立三木市民病院), 望月浩一郎, 二瓶美里(東京大学大学院工学系研究科)・成田真由美(パナリニック金メダリスト)

参加費：会員6000円, 非会員7000円, 学生2000円(当日受付のみ, 要学生証)

申し込み方法：参加者氏名(フリガナ), 所属先・資格, 2013年度会

員・非会員の別, 参加票送付先の住所(自宅・所属先を明記), TEL・FAXを明記し, 事務局までE-mail, FAX, ハガキのいずれかで。

申し込み・問い合わせ先：事務局
〒104-0045 東京都中央区築地1-9-4 ちとせビル3F

☎ FAX 03-3544-6112

✉ tentou@ellesnet.co.jp

URL <http://www.tentouyobou.jp/>

第15回母乳育児支援を 学ぶ北陸教室 in 富山

日時：10月26日(土)9:45~16:30

会場：富山県民共生センターサンプォルテ(富山県富山市)

プログラム：「赤ちゃんから見た早期接触の意義を考える—早期接触の新しい話題とWidströmの9つのステージ」奥起久子(新生児科医, IBCLC)/「生殖補助医療と母乳育児」桑間直志(産婦人科医, IBCLC)/「NICU退院前後の母乳育児支援—低出生体重児が“breast-feeding”で退院するために」奥起久子/「NICU退院後の地域での母乳育児支援」小泉恵子(助産師, IBCLC)

継続教育単位：5.0 L-CERPs

参加費：事前振込4500円, 当日5500円, 学生2000円(当日受付のみ, 要学生証)

申し込み方法：件名を「第15回学習会申し込み」として, 氏名(必ずふりがな, ローマ字表記を併記), 住所, 電話番号, FAX番号, メールアドレス, 勤務先, 職種を記入(複数名申し込みの場合も全員の情報に記載)してE-mailまたはFAX。

参加費振り込み先：ゆうちょ銀行
記号13290 番号10133221

ゆうちょ銀行以外からは, 店名：三二八店(サンニハチ店) 普通預金口座番号：1013322 名義：JALC北陸

申込期限：10月11日(金)

申し込み先

✉ hokurikubonyuu@yahoo.co.jp

FAX 0765-74-0428

有料託児：子ども1人につき3000円、事前申し込み期限10月6日

問い合わせ先：乙崎、杉井

✉ hokurikubonyuu@yahoo.co.jp

URL <http://jalc-net.jp/>

聖ルカ・ライフサイエンス研究所 2014年度研究・海外派遣助成

募集期間：10月15日

助成趣旨：医学および看護の臨床教育に関する研究、臨床疫学・医療の質並びに病院管理に関する研究、予防医学に関する研究、看護に関する研究

【研究助成】

助成対象：所属の如何を問わず、上記研究に従事する個人またはグループ

助成金額：50～100万円/件

募集件数：20件程度

【若手研究者の海外派遣助成】

助成対象：所属の如何を問わず、上記助成の趣旨に適用海外研修(2014年4月1日～2015年3月31日の間に、期間1年以上の海外留学を開始)を希望する個人(2014年4月1日現在満40歳未満の者で、申請書提出時点でTOEFL80点以上、またはTOEIC700点以上)

助成金額：300万円/人

募集件数：3件

【以下共通】

問い合わせ先：聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

☎ 03-5550-4101(内線6380)

✉ sllsi@luke.or.jp

URL <https://sllsi.or.jp/subsidy>

訪問看護サミット 2013

日時：11月10日(日)10:00～16:00

会場：住友不動産新宿グランドタワーベルサール新宿グランドホール(東京都新宿区)

テーマ：創造！ 2025年の訪問看護

護一語ろう訪問看護のビジョン

プログラム：講演「2025年の医療・看護・介護を考える」西村周三(国立社会保障・人口問題研究所)／「地域包括ケアの実現のために一複合型サービスと訪問看護」村田昌子(茨城県看護協会)／リレートーク「ホームホスピスの未来」木戸恵子(訪問看護ステーションはーと)／「介護ロボットの未来」宮永敬市(厚生労働省老健局新興課福祉用具・住宅改修指導官、介護支援専門官)／「基幹型訪問看護ステーション(仮称)構想」齋藤訓子(日本看護協会)／「任せてください！ 認知症ケア」宮崎和加子(全国訪問看護事業協会)／「意見交換」上野桂子、佐藤美穂子(日本訪問看護財団)

問い合わせ先：日本訪問看護財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5F
☎ 03-5778-7005(研修担当)

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp>

第10回日本周産期メンタルヘルス研究会学術集会

日時

学術集会：11月9日(土)10:00～17:00

研修会：11月10日(日)9:30～11:30

会場：日本赤十字看護大学201講義室(東京都渋谷区)

テーマ：現代女性の妊娠から子育てとメンタルヘルス

プログラム

[11月9日] 一般演題／特別講演「就労女性のこころとからだ」荒木葉子(荒木労働衛生コンサルタント事務所)／教育講演「女性の妊孕性と不妊治療の現状と問題点」辰巳賢一(梅ヶ丘産婦人科)／シンポジウム 佐々木司(東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野)、河合蘭(出産ジャーナリスト)、永田雅子(名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター)、萩原玲子(武蔵野大学附属産

後ケアセンター桜新町)

[11月10日]「若い女性、妊娠期にある女性の摂食障害」西園マーハ(白梅学園大学子ども学部発達臨床学科)

参加費

学術集会：会員3000円、臨時会員4000円、学部・大学院生1000円
研修会：会員3000円、臨時会員4000円

申し込み先：事務局(安川)

FAX 059-231-9049

✉ mental-3@hac.mie-u.ac.jp

URL <http://pmh.jp/index.html>

第4回感染管理看護研究会

日時：11月16日(土)9:00～16:35

会場：三重県立看護大学(三重県津市)

テーマ：看護でつなげてひろげていく感染管理

プログラム：教育講演「感染管理を担う看護職に求められる連携力と看護力」田中彰子(山梨県立大学)／事例セッション ファシリテーター・脇坂浩(三重県立看護大学)、石井真(中部大学)、小菅育恵(三重県立看護大学)、杉野健士郎(三重県立看護大学)、森山美香(三重県立看護大学)、野崎希(三重県立看護大学)

参加費：会員2000円、非会員3000円

問い合わせ先：三重県立看護大学地域交流センター認定看護師教育課程「感染管理」事務局

〒514-0116 三重県津市夢が丘1-1-1

☎ **FAX** 059-233-5626

✉ kansen@mcn.ac.jp



日本看護協会が地域包括支援センターにおける 保健師活動に関する全国調査を実施します。

日本看護協会では、厚生労働省の先駆的保健活動交流推進事業の一環として、地域包括支援センター(以下、地域包括)における保健師等、および地域包括を所管する市区町村主管部門(高齢者福祉課等)の保健師等の活動に焦点を当てた初めての全国実態調査を行います。

地域包括ケア推進の拠点となる地域包括の保健師活動に焦点を当てた初めての全国調査(全数調査)です。

全国の地域包括には「地域包括支援センターにおける保健師または看護師活動実態調査」、市区町村には「市区町村地域包括支援センター主管部門実態調査」をそれぞれ10月下旬に送付予定です。

地域包括や市区町村主管部門の保健師の役割、今後の体制整備、研修体制のあり方などを検討するための重要な資料となる調査です。受け取られた皆さまにおかれましては、ぜひご協力をお願いいたします。

(日本看護協会)

問い合わせ先

公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課(南平, 橋本)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

☎ 03-5778-8844 FAX 03-5778-8478 ✉ hokenshi@nurse.or.jp



ヘルスプロモーション研究センター 地域づくり型保健活動 トレーニングセミナー in 東京

楽しいはずの健康づくりで悩んでいませんか？ このセミナーでは、地域づくり型保健活動(SOJO model)の基本的な考え方と手順を知り、悩みの解決の糸口を得て、各自の活動に活かすことができるようになることをめざします！

日時：12月6日(金)10:00-17:00,
12月7日(土)9:30-16:30

会場：海運ビル4階会議室(東京都千代田区)

講師：岩永俊博, 渡辺志保, 安藤実里ほか

対象：保健師, 栄養士, 医師, 事務職, NPO, 住民のみなさまなど, SOJO modelを学んで活用したいと思っている方, 既に活用している方

参加費：10000円

定員：先着30名

締め切り：11月18日

申し込み・問い合わせ先：公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター(水橋, 成田)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15F

TEL 03-5212-9152

FAX 03-5211-0515

URL <http://www.healthpromotion.jp>